



第48号

## 木曽川町連区



# 地域づくり協議会だよい

[発行日]令和3年8月1日 [発行者]木曽川町連区地域づくり協議会

〒木曽川町内割田一の通り27(一宮市木曽川庁舎内) 電84-0005

[メールアドレス]k-chikki@orihime.ne.jp

[ホームページ]<http://138kisogawa.org> 木曽川町連区で検索してね♪



↑  
こちらからどうぞ



## バスを利用しましょう！！

最近、高齢者の方が運転する自動車事故が増加しており深刻な社会問題となっています。自動車の運転を控え、バスを利用すれば事故を起こす不安もなく、安心して移動できます。

木曽川町連区には、i-バス(木曽川・北方コース)が運行しており、木曽川庁舎やJR木曽川駅、玉堂記念木曽川図書館や木曽川体育館などの公共施設と様々な商業施設を巡回しています。また、名鉄バスの一宮・イオン木曽川線は一宮駅とイオンモール木曽川を繋ぎ、それが地域の方の足として木曽川町連区を運行しています。

新型コロナウィルス感染症の影響により、外出や移動の自粛が続いたことで、バスの利用者が大幅に減少しています。

運行にあたって、バス車内の換気や消毒等の感染予防対策を運行事業者が実施しておりますが、皆様もご利用の際は、手洗い・うがい・マスクの着用等の感染症予防対策のご協力をお願いいたします。



ご自身が交通事故の加害者にならないよう  
するために、  
また、地域の貴重な移動手段として  
欠かすことのできない  
地域のバスとして存続させるためにも、  
皆様のご利用をお願いします!!

## 世代間の連携と活力あるまちづくりを

活気部会長 平林 哲也

活気部会では、昨年度、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、これまでみなさまにお楽しみいただいておりました恒例の活動を中止せざるを得ませんでした。今年度も、まだまだ先行き不透明ではありますが、新型コロナウイルスの収束を願って、さまざまな活動計画を立てています。

「第3回雀のお宿野外音楽祭」は、地元で活躍する音楽団体を中心にご出演いただき、市民のみなさまにその演奏を楽しんでいただけたらと10月に開催予定です。現在準備を進めておりますので、実施の運びとなりましたら、ぜひ野外の心地よい風に吹かれながら演奏に耳を傾け、楽しい時間をお過ごしください。

また、これまで木曽川町内3小学校と地域との連携活動として、子どもたちに木曽川町の歴史や自然、文化を学んでもらう機会をつくってきました。こちらも新型コロナウイルス感染の状況を見極めながら、各学校と相談の上、実施していく予定です。

さらに、今年度の新企画として、『みんなで描こう！木曽川町の未来予想図！』と題し、夏休みに小中学生による木曽川町の未来を語り合う場を設けます。やがては木曽川町の将来を担う小中学生が、現在の木曽川町をどうとらえ、木曽川町の将来像をどのように描いているのか、小中学生がまちづくりにどのように関わっていけるのかなどを語り合いながら、その実現に向けたステップが踏めたらと考えています。子どもたちの語り合いの様子は、地域づくり協議会ホームページやたよりを通してお知らせします。

今年度も地域の新たなニーズを掘り起こしながら、世代間の連携と活力あるまちづくりを目指して活動してまいりますので、みなさまのご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。



## 高齢者が安心できるまちづくりを

思いやり部会長 中村 隆

思いやり部会は、世代を超えた住民間のふれあいと絆を深め、地域福祉のまちづくりを推進するのが目的で、今年度も大きく2つの活動を実施します。

①見守りネットワークの推進→高齢者等弱者を支える地域社会の役割として、ご近所付き合いを通じ支えあうまちづくりを、民生児童委員・町会長の方々と連携して推進します。一人住まいや高齢者だけの世帯で少し自立困難な方々に、普段より声かけ・見守りし、地域の人々の命を守るためにネットワークづくりです。

②認知症徘徊模擬訓練「声かけお助け隊」→実際に声かけ体験し、認知症に関する知識を深め、認知症の方への接し方を学ぶ機会とします。日本では高齢化が進み、2025年には65歳以上は5人に1人が、また80歳以上では4割が認知症になるといわれています。認知症の人は見た目が何も変わらず、どのようなサポートが必要かなかなかわかりません。徘徊模擬訓練を通じて何か困っているお年寄り（認知症）を見かけたら気軽に声をかけて、高齢者がふだんから安心して外出できるまちづくりを目指すのが目的です。

- ☆体験内容☆ 認知高齢者への声かけ練習
- ☆日時☆ 令和3年11月13日(土)9時～12時
- ☆場所☆ 木曽川東小学校体育館
- ☆対象☆ 木曽川東小学校区にお住まいの方(お子様もOK)  
東小学校区内にお住まいの方には、参加者募集用紙を町内を通じて配布します。ぜひご参加またはご見学にお越しください。



## 地域の方々の安心安全のチカラに

安全安心部会長 中井 義也

いつも木曽川町連区地域づくり協議会の活動にご協力いただき誠にありがとうございます。昨年度に引き続き、令和3年度安全安心部会長を承ることになりました中井義也と申します。

今年度安全安心部会では、大きく3つの活動を状況を見ながら、進めていく予定でございます。①防災マップ（洪水バージョン）データの作成 ②HUGの開催 ③木曽川町ポータルサイト（仮称）です。

①防災マップ（洪水バージョン）データの作成については、木曽川町地区に限定した洪水等の情報を盛り込んだデータの作成をして、様々な場面でお使いいただける状態にしたいと思っております。

②HUGの開催についてですが、HUGというのは、H→避難所 U→運営 G→ゲームの略でございます。昨年度は、開催できませんでしたが、実際に災害が起きたときの現実を知り、今後の対策を立てる上で、とても重要なことを学びました。この活動を続けていき、地域の皆様と情報を共有しながら、災害時の基本的な行動などを共有できればと思います。

③木曽川町ポータルサイト（仮称）については、木曽川町に特化した、安全・安心とあわせた情報を取りまとめたHPを作る予定です。

安全・安心とは、私たちが日頃意識し、その意識が結集するとすごく大きな力になります。私たち安全安心部会では、この3つの活動を通じて、地域の方々の安心安全にお役に立てればと思います。これからもどうぞ、ご協力よろしくお願ひ致します。



## コロナ禍だからこそ地域のつながいを

女性部会長 宮崎 初美

地域づくり協議会に「女性部会」が発足して今年で6年目になりました。女性ならではの視点や感性を大事にして、仲間と共に、日々勉強させていただいております。

昨年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、地域の恒例の行事も軒並み中止・変更を余儀なくされ、思うような活動ができるない状況でしたが、「コロナ禍だからこそ、地域の方とつながる何かが欲しい。地域の情報を皆さんと共有したい。」とHPを使って、「ちょっといい話」「木曽川町のいいところ発見」「耳寄りな話」というコーナーを使って発信してきました。部員の方のご協力でリレー形式で、「ちょっといい話」を14回、「耳寄りな話」を2回投稿しました。さらに、地域の方のご協力で「木曽川町のいいところ発見」を3回投稿しました。素敵な写真もいただき、HPが華やかになりました。ありがとうございます。

今年も昨年同様、リレー形式の発信はもちろん、地域の皆様からの投稿を受け付けていこうと思っております。記事の投稿をご希望の方はHPの「ご意見箱」からご一報ください。また、コロナ禍で大勢集まる事が難しい状況にあるので、非対面の「オンライン会議」をはじめ、対面と非対面の両方を実現させる「ハイブリット型の講座開催」などの構築が必要になっていると感じています。

女性部会では、今年度の新たな試みとして、これらを実現するため勉強会を開き、地域づくりの新たな形での参画をしていきます。新たな事に戸惑いながらのスタートになります。ご興味ある方、ご協力いただける方は、ご一報ください。よろしくお願ひします。



## みなさまのお役に立つ情報がいっぱい

広報部会長 菱川 陽子

コロナ生活が1年以上続いますが、主婦として経営者として一宮市のホームページで感染者情報を毎日検索しています。「急激に増えているからマスクを2枚重ねで着けよう」とか「10代の子が多く感染しているから子供に気を付けて!!って言わなきゃ」とか。新聞を取っていない世代でも自分の必要とする情報は自分で取りに行ける時代ですが、年代によってはそれが厳しいのも現実です。誰もが同じ情報を手にできる、そんなみんなに優しい情報誌として、この地域づくり協議会だよりがみなさんの手に届いたら嬉しいなあ～と思います。

地域づくり協議会は、役員の方々が中心となり、私たちが住んでいるこの木曽川町を、年齢問わず安心安全に暮らせる町、活気があり魅力ある町にしようと活動して下さっています。女性部会の方はいろいろ工夫しながら新しいことにもチャレンジして下さっています。しかし、残念ながら地域づくり協議会のことを知らない方が多いのが現状です。役員の方々が木曽川町のためにと時間と身体をつかって頑張って下さっていますので、その活動やその想いも、この「地域づくり協議会だより」を通じて発信し、みなさまに興味を持ついただけたらと思います。

私も子育てと仕事をしているため、他の役員の方に助けてもらっての活動ですが、微力でもお役に立てていると思っています。（笑）みなさんも少しのチカラでいいのでお貸しいただけたらと思います。



✿一緒に活動して下さる仲間＆みなさまからの情報提供もお待ちしております✿

## 木曽川公民館事業について

公民館長 太田 孝子

木曽川公民館連区公民館長の太田孝子と申します。どうぞよろしくお願いします。日頃は、公民館の運営・活動にご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和3年度における公民館事業につきまして、新型コロナウイルス感染症による影響が収束しない状況が続いているところですが、ワクチン接種も始まるところから、状況を見ながら開催の可否を判断していきたいと考えています。現在のところ、「盆踊りのつどい」及び「町民運動会」は、市からの要請により誠に残念ですが中止といったしました。しかし、文化祭は10月30日（土）・31日（日）に木曽川公民館で、芸能祭は11月7日（日）に木曽川文化会館で開催する予定で調整しています。

成人学習講座をはじめ、家庭学習講座、女性学習講座につきましては、感染対策を施し開催する予定となっていますが、昨年同様に参加者を絞っての開催となります。昨年は、参加定員削減により残念ながら、参加をお断りしないといけないことになりました。今年度は、公民館での集合講座と併せて、ICTを活用してマルチメディアによる講座配信も検討しています。是非、多くの町民の皆さんにご聴講していただきたいと期待しております。また、木曽川公民館の良いところを、ICTを通じて発信していくければと考えております。

コロナ渦により厳しい状況であります。ICTを活用しながら、皆さまとの的確・迅速な情報共有を図り、協力体制を一層密にして公民館だけでなく木曽川町の発展に努めていきたいと考えております。何卒、皆さまのご指導・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

